

NPOバイオマス北海道

10周年記念祝賀会

日時：令和元年11月9日（土）17:00～

場所：レストランSan Remo（アパホテルEXCELLENT 内）

〒001-0010 北海道札幌市北区北10条西3丁目7番地

TEL:011-756-7733 FAX:011-756-6661

NBH10周年記念祝賀会参加者名簿

敬称略、申し込み順

| | |
|----|--------------------|
| 1 | 渡部和正 |
| 2 | 船越元 |
| 3 | 菅井貴子 |
| 4 | 加賀美穂 |
| 5 | 金子孝文 |
| 6 | 角田明彦 |
| 7 | 小笠原紘一 |
| 8 | 吉田伸二 |
| 9 | 坂田和則 |
| 10 | 福間博史 |
| 11 | 川嶋幸治 |
| 12 | 堀内奎井子 |
| 13 | 築地原康志環境生活部長 |
| 14 | 阿部淳気候変動対策担当局長 |
| 15 | 花田秀二主幹（地域資源活用グループ） |
| 16 | 伊藤俊裕 |
| 17 | 阿賀裕英 |
| 18 | 石井一英 |
| 19 | 古市徹 |
| 20 | 藤田哲男 |
| 21 | 落合知 |
| 22 | 小島久美子 |
| 23 | 上村英史 |

プログラム

17:00 第Ⅰ部 記念式典

総合司会 理事 福間博史氏

17:00 理事長あいさつ 理事長 古市 徹氏

記念講演司会 監事 角田明彦氏

17:05 記念講演1

「石狩バイオマスネットワーク研究会のエピソード
～プロローグとエピローグ」

理事 川嶋幸治氏

17:30 記念講演2

「NPOバイオマス北海道10年間を振り返って」

副理事長 石井一英氏

17:55 休憩

プログラム

18:00 第Ⅱ部 記念祝賀会

総合司会 理事 福間博史氏

18:00 ご来賓紹介

理事 伊藤俊裕氏

18:05 乾杯

顧問 小笠原紘一氏

19:00 スピーチ

司会 理事 阿賀裕英氏

ご来賓挨拶

北海道環境生活部長 築地原康志 氏

船越 元 氏

金子孝文 氏

加賀美穂 氏

菅井貴子 氏

その後、メンバー全員

19:45 中締め

渡部和正 氏

20:00 おひらき

石狩バイオマスネットワーク研究会

エピソード

2019年11月9日
NPOバイオマス北海道10周年記念

プロローグ

- 1 石狩地域活性化戦略会議（有識者部会）（H16.7.29）
 - バイオマスの利活用
 - リサイクルポートの活性化
- 2 石狩地域重点戦略（H16.8.30）
 - (1) 都市と農山漁村との交流促進
 - (2) 環境にやさしい、循環型利用の促進
環境に負荷の少ない、持続的発展が可能な地域づくり
 - (3) 交通ネットワークの形成・充実
- 3 地域政策推進事業（重点戦略の施策展開）
 - 石狩バイオマスネットワーク形成事業

苦難の始まり

行政の視点

- 施策展開
- 入口と出口
- 事業の成果

ネットワークの形成、新たな事業展開



有機性廃棄物の焼却・埋立 → 有機性廃棄物の有効利用

3年間！

3年後？

研究者の視点

- 研究会の構成
- ビジネスモデル

3

石狩バイオマスネットワーク形成事業（1）

地域政策推進事業（H17年度新規事業：17～19）

H17予算 2,434千円

目的・概要

石狩管内では、大消費地の札幌市から大量に発生する生ごみをはじめ、農業系廃棄物や木くず等の有機性廃棄物が主に焼却や埋立処理されているため、資源化や減量化の取り組みが遅れている。このため、排出者や関係事業者等からなる研究会を設置し、生ごみを中心とした有機性廃棄物の有効活用方策を探るとともに、新エネルギーの利用や新産業の創出等の可能性を明らかにする。

(参考)

幻に終わった本庁新規事業（バイオマス利活用総合推進事業）

バイオマス地域循環モデル事業（H17 胆振地域）

4

石狩バイオマスネットワーク形成事業（2）

経過・必要性

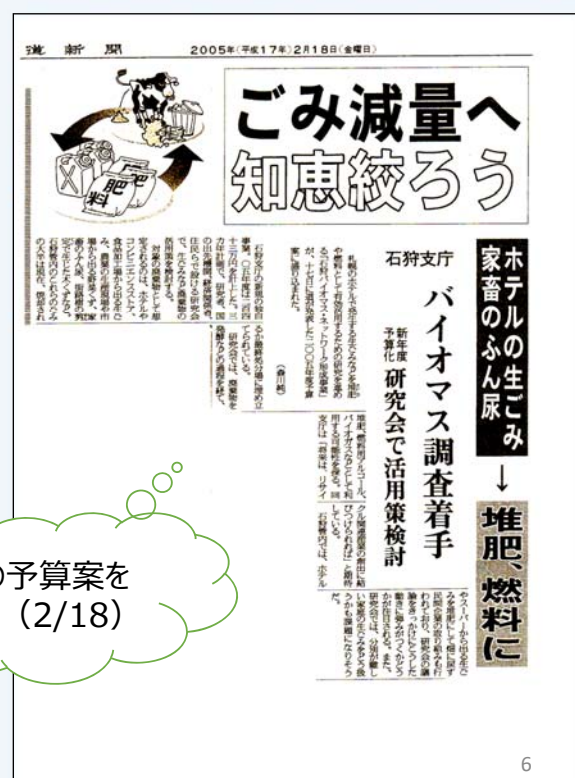
- 1) 石狩管内の地域特性
札幌市を中心とした多量の廃棄物の発生
廃棄物の処理は焼却が主とされ、生ごみや木くず等の有機性廃棄物については減量化、資源化が進んでいない
- 2) バイオマス日本総合戦略の策定（平成14年12月）
- 3) 循環型社会形成推進基本計画の策定（平成15年3月）
- 4) ごみゼロ・プログラム北海道による未利用資源の有効活用の促進（平成12年3月）
- 5) 石狩地域活性化戦略会議（有識者部会）でのバイオマスの利活用、リサイクルポート活性化の議論（平成16年7月）
- 6) グランドホテル（札幌市）、町村牧場（江別市）における生ごみたい肥化や家畜ふん尿メタンガス化事例

5

石狩バイオマスネットワーク研究会（1）

- 1 ホームページの立ち上げ（1/14）
- 2 アンケートの実施（1/31～2/28）
 - ・ ホテル・旅館業界（58）
 - ・ 食品工場（145）
 - ・ 水産加工業、飲食業（98）
 - ・ ファミリーレストラン（68）
 - ・ 食品製造業（25）
 - ・ 漁業協同組合（2）
 - ・ 廃棄物コンサル業（22）
 - ・ コンビニ業界
- 3 組織構成の検討
- 4 事業スケジュールの検討

道の予算案を
報道（2/18）



6

石狩バイオマスネットワーク研究会（2）

1 研究会設置要綱

事務局：石狩支庁環境生活課

2 委員会運営要領

委員（16名）

エネルギー（2）市（2）国（2）排出者（2）農業（2）スーパー（1）
ホテル（1）消費者（1）企業支援（1）大学（1）支庁（1）

排出者、技術者、利用者、
消費者、研究者、支援者
（自治体、国）

3 部会運営要領

2部会（6グループ）

4 設立総会（H17.7.28）

会員（84：団体、機関、個人）

第1回委員会、第1回部会準備（全体）会議

空調のない真夏の支庁会
議室で、熱気ほとばしる暑い
議論！

7

第58回さっぽろ雪まつりバイオマスイベント

1 北海道バイオマスコミュニティプロジェクト

- ・ グリーン電力パネル「灯りに願いを」実演、ペレットストーブ展示
- ・ 2月6日～12日（10:00～20:00）
- ・ 大通7丁目会場（HBC広場）もんすけ広場内ブース（参加費500円）
- ・ 担当者：加賀さん

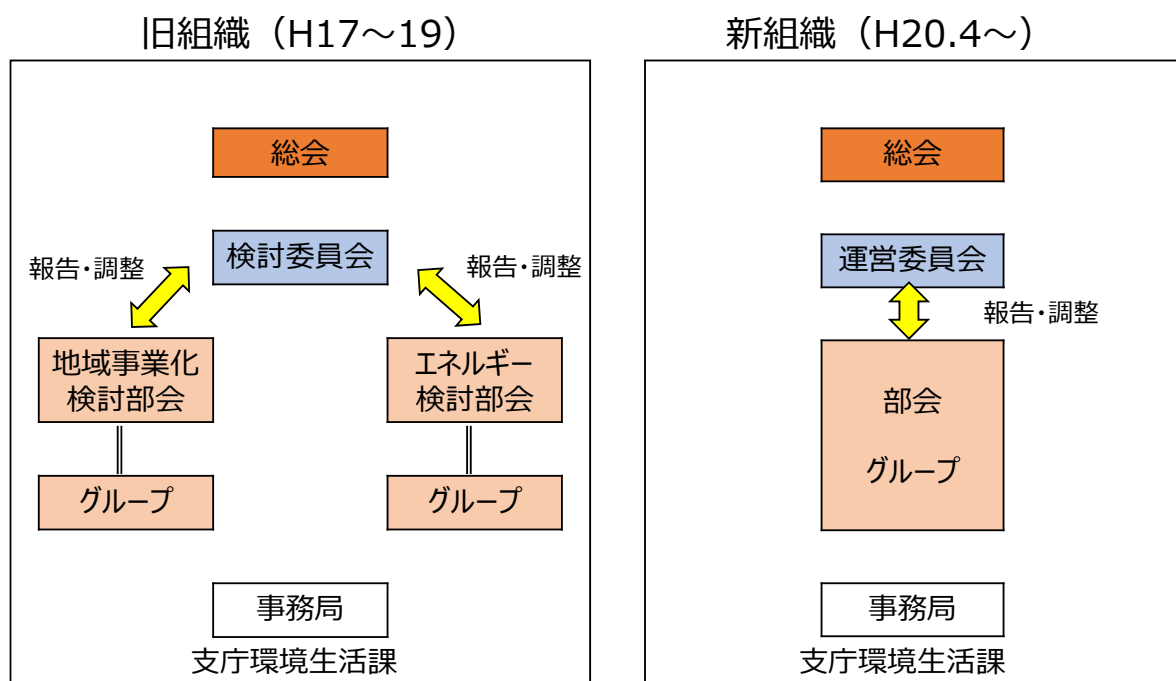
2007年

2 ステージイベント（いっしょに学ぼう バイオマス！）

- ・ バイオマスキイズ
- ・ 2月8日（木）11:00～11:30
- ・ 2月9日（金）12:30～13:00、16:30～17:00
- ・ 大通5丁目会場（毎日新聞「氷の広場」、北海道新聞「雪の広場」）
- ・ 関係者延べ 100人（3ステージ）
- ・ バイオマス説明員：関さん
- ・ バイオマス博士：梶川さん、石井先生

8

事業の終了と研究会の存続



9

エピローグ

動機：道内資源の活用と地域振興

苦勞と利点：庁内合意と域政策部

心残り：すすきのバイオマスタウン構想

事業化への道：バイオマスコンビナートとSDGs

余録：道庁ブランドと人材の再確認

思い出：出会いとネットワーク

新開さん、辰巳さん、甲谷さん、高田さん、小林副支庁長、後任の須藤課長